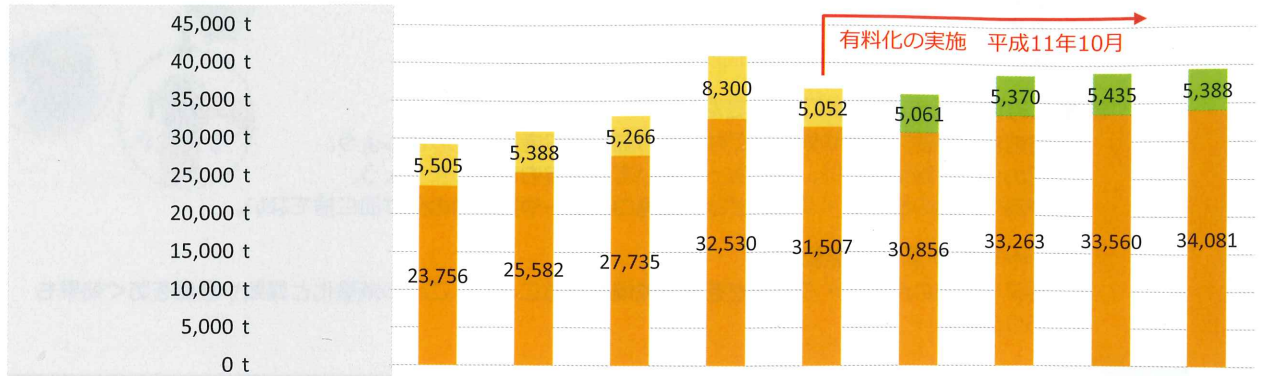


# ごみ処理の状況と有料化の効果

## ■ごみ排出量の推移（単位：t）

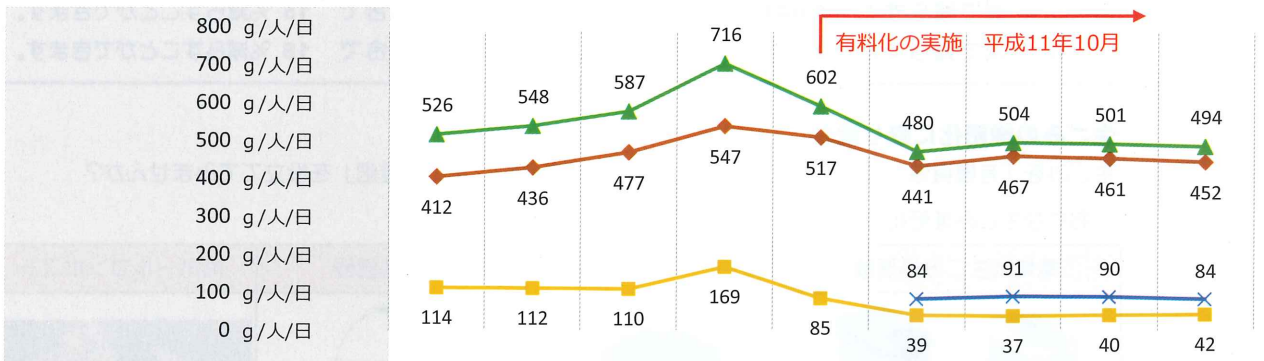
平成10年度までのごみ排出量は右肩上がり増加していましたが、平成11年10月からの家庭ごみの有料化に横ばいの状況にあります。



	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
燃えるごみ	23,756	25,582	27,735	32,530	31,507	30,856	33,263	33,560	34,081
燃えないごみ	5,505	5,388	5,266	8,300	5,052	-	-	-	-
不燃・資源ごみ	-	-	-	-	-	5,061	5,370	5,435	5,388
計	29,261	30,970	33,001	40,830	36,559	35,917	38,633	38,995	39,469

## ■住民1人1日あたりのごみ排出量（原単位：g/人/日）

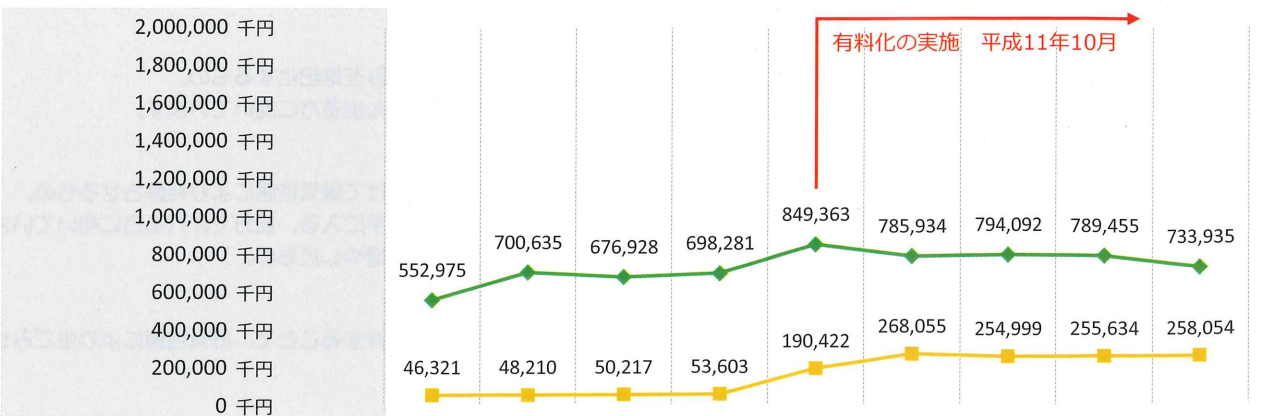
平成11年10月から家庭ごみの燃えるごみ・燃えないごみの有料化を実施し、燃えるごみは最大で26%の減量



	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
燃えるごみ	412	436	477	547	517	441	467	461	452
燃えないごみ	114	112	110	169	85	39	37	40	42
可燃・不燃計	526	548	587	716	602	480	504	501	494
資源ごみ	-	-	-	-	-	84	91	90	84

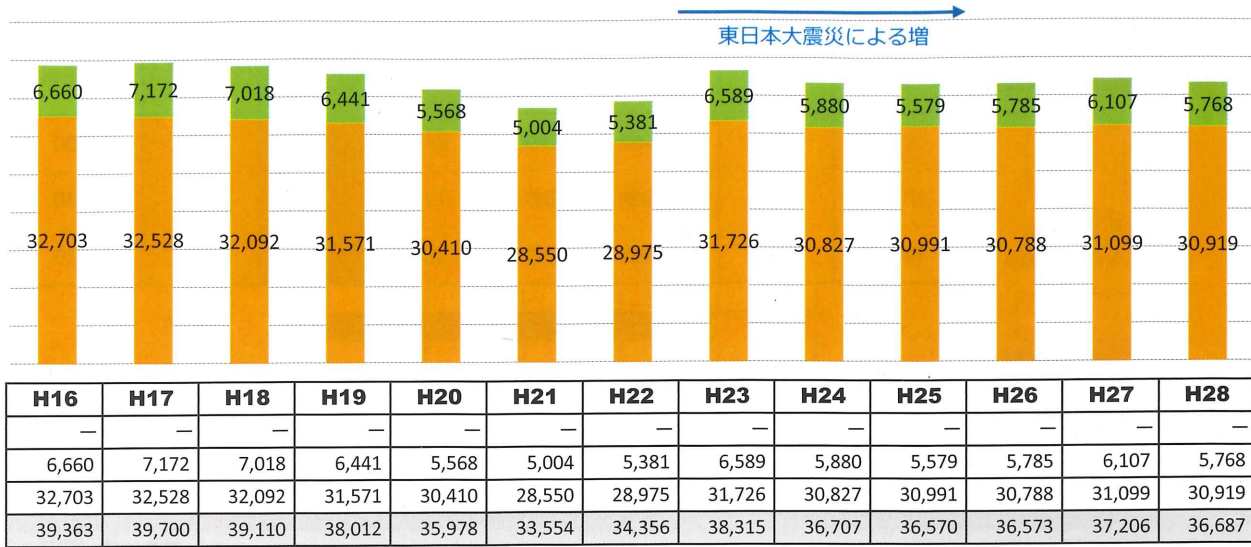
## ■ごみ処理経費とごみ処理手数料の推移（単位：千円）

平成7年に建設した、ごみの焼却施設（西白河地方クリーンセンター）等の経年劣化により、機械・電気設備等の手数料を含むのうち、住民の皆様にごみの排出量に応じ、燃えるごみ袋・燃えないごみ袋にて負担いただいた手数料

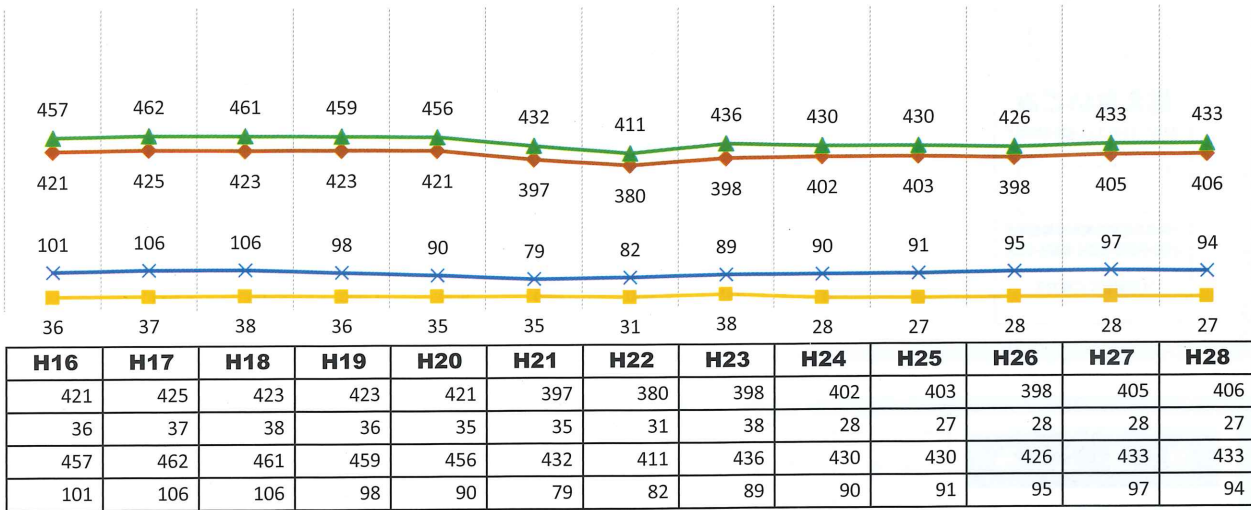


	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
ごみ処理経費	552,975	700,635	676,928	698,281	849,363	785,934	794,092	789,455	733,935
ごみ処理手数料	46,321	48,210	50,217	53,603	190,422	268,055	254,999	255,634	258,054

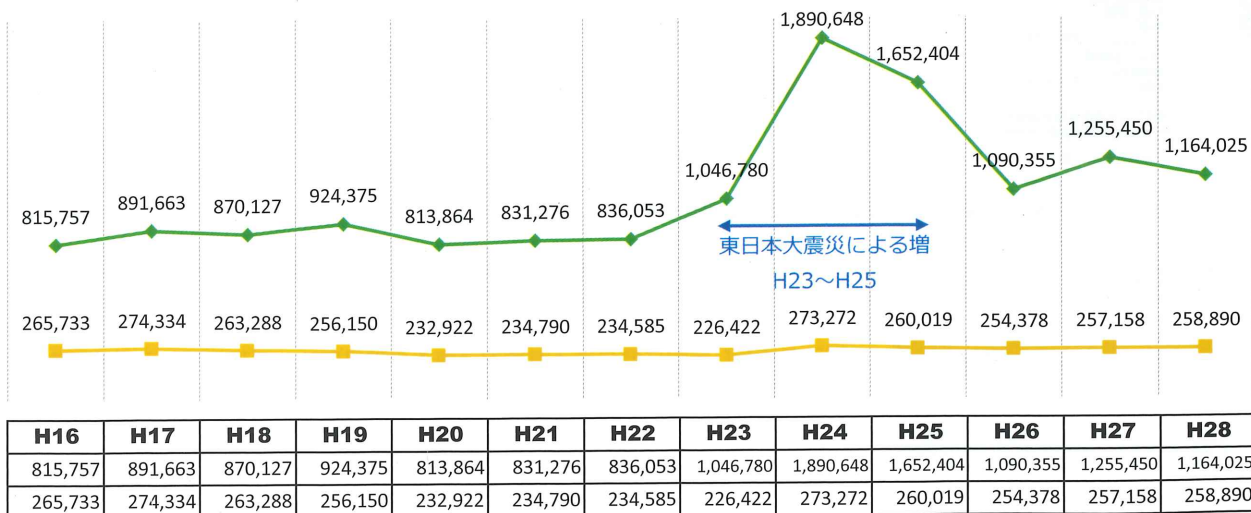
より減少傾向が続きましたが、平成23年に発生した東日本大震災の影響により、一時的に増加したものの、その後は【平成28年度における排出量の割合：家庭ごみ 24,404 t 67% 事業系ごみ 12,283 t 33%】



となり、資源ごみを無料扱いとしたことにより、ごみの分別促進が図られ、燃えないごみの排出量は減り続けています。



維持補修費は増加傾向になっています。平成28年度におけるごみ処理手数料 258,890千円（事業系ごみ処理料は 125,680千円で、1世帯あたりにすると1年間で約3,137円を直接負担いただいております。



- 廃棄物制度のしくみ
- 3R活動への取り組み
- ごみ処理の流れ
- ごみ処理の現状と課題
- ごみ処理の状況と有料化の効果
- 指定ごみ袋の種類と販売価格
- 資源とごみの出し分け方への案内
- 燃えるごみ
- 古紙類
- 紙製容器包装
- 衣類等
- かん類・金属類
- びん類
- ペットボトル
- プラスチック製容器包装
- 燃えないごみ
- 粗大ごみの処理の仕方
- 廃家電品の処理の仕方
- 農業空容器の回収案内
- 施設利用のご案内
- その他の回収案内
- ごみ集積所に出せないもの・受入できないもの
- よくある質問
- 資源とごみの分別辞書
- 組合からのご案内